

2001.12.20 発行 年2回発行

第6号

発行所 徳島県介護支援専門員協会
阿波郡阿波町字北整理1-1
0883 35 6085
徳島事務局 088 669 3001



介護支援専門員協会ニュース

記念講演会

「身体拘束への取り組み」

講師 上川病院理事長 吉岡 充先生



定期総会に引き続いて行われた平成十三年度記念講演会は、全国抑圧防止研究会会長、上川病院理事長の吉岡充先生をお迎えして行われました。介護保険施設

大分県介護支援専門員連絡協議会の発足にあたって

代表幹事 桑島 英治

大分県介護支援専門員連絡協議会は、本年十月十四日に設立しました。当日は、貴協会の大家会長にお願ひ、素晴らしい記念講演をしていただき、錦上花を添えることが出来



他県からのお便り

設において、抑制を行ってはいないという大原則の中、各施設では転倒・転落の危険性、点滴、経管栄養等の自己理由による安易に行われてきた身体拘束を廃止するための試行錯誤を繰り返している今、まさにタイムリな講演で介護支援専門員のみならず現場の看護・介護の全ての職員に聞いてほしい内容でした。

ところでこの弊害、人間らしさ(尊厳と誇り)が失われ死に至る抑制死が考えられ、それは安全確保、治療という名目で縛りたくなる。縛られることによる弊害や問題行動の出現、治療薬・ケアの増加というサイクルにより起こると言われている。実際に縛られたことが無い人比へ縛られた経験のある人の方が割合かは、より短命であると感じたと述べられました。また、身体拘束廃止のためには五つの基本的ケアに対する概念の徹底が必要であり、実際に上川病院で行われているグループホーム的ケア、痴呆のりハビリテーションを紹介され、スタッフは患者十人に対し三人程度で、食事・掃除・機能訓練等を行い、各々の機能に応じた役割分担を持つよう

平成十三年定期総会



平成十三年定期総会は、猛暑の八月二十五日ホテル千秋園において会員九十六名(委任状六八八名)の参加を得て開催されました。大塚会長は「制度発足一年が過ぎ介護保険の中で介護支援専門員の役割が理解され、認めら

れ始めた年であったのではないかと振り返られた、各委員会の事業開催にあたっての苦勞をねぎらわれました。討議された議案は次の通りです。
議案1 平成十一年度事業報告
運営委員会による一回の講演会の開催、会員募集の実施、全国の協会設立に向けての準備活動、学術研修委員会等による三回の研修会が開催され、全ての行事が好評だったことが報告されました。また、決算報告は、監査員から正当に処理されていた旨報告され承認されました。
議案2 役員改選について
役員改選にあたり、多職種の集りである特徴を生かすというところで、退任された方々の後任として、それぞれの職種から選出され承認されました。

議案3 平成十三年度事業計画
学術研修委員会は研修会を二回開催する予定、業務委員会は介護支援専門員への情報提供の場としての研修会、権利擁護に関する勉強会を企画し、運営委員会も同様に二回の講演会、会員増加に向けての運動を実施していく方向であること、広報委員会は二回の広報誌の発行を予定、施設委員会では介護施設への施設見学会をホームページの充実を図る意向であることが報告されました。十三年度予算案に関しても併せて承認されました。
議案4 その他
賛助会員の中に施設会員をおき、一施設二万円を募るほか、関係職域(弁護士、建築士)の方にも個人会員として一人一万円を募るといふ項目が定款に追加されることが提案され可決されました。また、協会発足後、年六回の研修会など、各委員のボランティアにより成り立っている面も多いため、委員の増員を募りま

「摂食・嚥下障害のリハビリテーション」

去る十一月十一日(日)歯科医師会館に定員を上まわる二百人余りの会員、非会員の参加を得て開催されました。言語聴覚士の北出修子先生から「摂食・嚥下障害の基礎」と題して、各障害を起す疾患、正常嚥下・異常嚥下について説明があった後、嚥下障害者の思いとは、障害者の立場に立って考えることが基本である。信頼関係が重要で、良いコミュニケーションを作ることは、言葉ではなく笑顔で受け取りたいと考えています。先輩の会であり、徳島県介護支援専門員協会の皆様の大絶大なご支援を今後ともお願いする次第です。



直接訓練法、同じく角野真由美先生から「食事介助について」の講演を頂いた後、モデルを通して実演があり、また各自が実際にとりかきを作ったりポッキー、グミを使い訓練してみたり、最後には五グループに分かれて実習を行いました。

第5回学術研修セミナー

去る十一月十一日(日)歯科医師会館に定員を上まわる二百人余りの会員、非会員の参加を得て開催されました。言語聴覚士の北出修子先生から「摂食・嚥下障害の基礎」と題して、各障害を起す疾患、正常嚥下・異常嚥下について説明があった後、嚥下障害者の思いとは、障害者の立場に立って考えることが基本である。信頼関係が重要で、良いコミュニケーションを作ることは、言葉ではなく笑顔で受け取りたいと考えています。先輩の会であり、徳島県介護支援専門員協会の皆様の大絶大なご支援を今後ともお願いする次第です。

管理栄養士の高橋保子先生から「食物形態の工夫と栄養管理」をテーマに、食生活が乳児期から老年期に至るまで各ステージに合わせた、食生活づくりはその人に合わせて、嚥下食を工夫するためにはゼラチン・澱粉・寒天・増粘多糖類などを利用して、飲み込みやすく摂取しやすくする。また、食事介助に関して介助する立場の違いがあるが、嫁が介助したときが九九・五％と一番摂取率が良いと説明がありました。言語聴覚士の岡田勝彦先生から「嚥下障害の問接訓練・

予定時間を超過してのセミナーになりましたが、最後まで多数の方々の協力を得て終了することができました。ちよっとした工夫や訓練によって、口から食べられる喜びが得られることをあらためて実感した有意義な半日でした。

介護支援専門員協会に期待

徳島県歯科衛生士会会長 那賀川明美さん

介護支援専門員の受験資格者の中に、歯科衛生士の職名が入った時には、歯科衛生士が介護の中で他職種と一緒に...

この数年、高齢者の口腔ケアの重要性が言われるようになってきた。本協会でも昨年、口腔ケアのセミナーが開催された...

介護支援専門員協会におかれましては、ご多忙の中にも、本協会に協力していただき、誠にありがとうございます。

頑張っている事業所の紹介

10年目の再確認

那賀川明美さん

「地元で起業したい。その願いはじめてのが約10年前。介護保険の施行と同時に徳島県では例がなかった民間企業による訪問看護ステーションを立ち上げました。」

「わたくしは平凡な人間でありたくない。非凡な人間として生きていければいい。わたくしは、人間的な成長を望んでいます。」

会員からのお便りコーナー

美馬町の現状について

町の人口は平成十三年四月一日現在九、四七三人。内六十五歳以上の人口は二、五三三人で高齢化率は二六・七％です。

介護保険制度を円滑にするため、平成十二年四月より福祉課介護保険係に介護支援専門員の資格を持つ保健婦が異動により配置されました。

市町村のとりくみ

羽ノ浦町

介護保険実施計画と平成十一年度介護保険実績を比較検討してみました。

新しくスタートした介護保険制度は、来年度より三年目を迎えます。

賛助会員の紹介コーナー

株式会社 トーカイ TOKAI 福祉用具・住宅改修

株式会社クレシア から アクティ ご案内 失禁用保製製品

CareManager ケアマネジャー マネジャー

表1 特定疾患治療研究(医療費公費負担)対象疾患一覧表

Table with 4 columns: 疾患名, 12年度末交付件数(徳島), 40歳から介護保険該当, 訪問看護は医療保険対応週4日以上算定可能. Lists 46 diseases and their corresponding numbers.

難病の制度と介護保険について

徳島県長寿社会課

わが国の難病対策は、昭和四十七年に当時の厚生省が「難病対策要綱」を策定し、総合的な対策が開始されました。この要綱で、難病として行政施策の対象としては、原因不明治療法が未確立で、かつ後遺症を残すおそれがある「一八疾患」が取り上げられてい...

徳島県保健福祉部健康増進課

「特定疾患医療受給者証」や「特定疾患医療受給者証」や保健所との連携によって把握した、全額公費が一部負担かを「特定疾患医療受給者証」や保健所との連携によって把握... 一 難病とは 難病として行政施策の対象とする疾病の範囲を、次の二項目に整理している。 ①原因不明、治療法未確立であり、かつ後遺症を残すおそれがある...

者の負担分が従来と変わらない。

者の負担分が従来と変わらない。 (負担割合は表2と同じ) ④要介護者が神経難病等の患者の場合は訪問看護は週三日を限度とし、全額公費負担し、一般患者については、定額負担となっている。(表1 2の疾患) 四 難病患者等居宅生活支援事業 ①短期入所事業 ②日常生活用具給付事業 ③難病患者ホームヘルパー養成研修事業を実施している。

地域福祉権利擁護事業福祉サービス利用援助事業の現状と今後の展望

契約型福祉サービスの到来に、サービス利用者者の自己決定及びサービス提供者との対等な立場を保障するために、また、民法の一部改正による成年後見制度を補完する仕組みとして制度化された「地域福祉権利擁護事業」は、在宅に居住する痴呆性高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が十分な方を対象に、福祉サービス利用援助の目的を、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを提供すること、また、福祉サービスの利用促進を図ること、また、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、生活を支援していくこと、地域に根付き、浸透するよう、介護保険制度の中核的な役割を担う介護支援専門員の皆様方には、より一層の連携と一歩の掘り起こしを切に願っています。

表2 特定疾患治療研究事業について 一部負担を要するもの(一般)と、一部負担の必要のないもの(重症)の種類があります。

Table with 2 columns: 種類 (一般, 重症), 受給者証 (白, ピンク), 公費負担者番号 (51366029, 51366011), 申請の際に必要な書類 (申請書及び同意書, 病状報告書, 臨床調査個人票, 住民票等の写し), 一部負担額について (入院時: 医療費と食事療養費を含めて、1医療機関につき月額14,000円. 入院以外: 薬剤一部負担を含めて、1医療機関につき月額2,000円(1日につき1,000円を限度に月2回までの支払が必要)です。訪問看護や、院外処方による調剤薬局での薬剤費については、一部負担は必要ありません。)

医療・福祉・保健の制度について御相談がありましたら 最寄りの保健所までお気軽に御連絡ください。 徳島保健所(徳島市、鳴門市、名東部、名西部、板野部/藍住町・北島町・松茂町・板野町) ☎ 088-652-5151 阿南保健所(小松島市、阿南市、勝浦郡、那賀郡) ☎ 0884-22-0072 日和佐保健所(海部郡) ☎ 0884-77-1222 鴨島保健所(板野部/上板町・吉野町・土成町、麻植郡、阿波郡) ☎ 0883-24-1114 穴吹保健所(美馬郡) ☎ 0883-52-1017 池田保健所(三好郡) ☎ 0883-72-1121 徳島県保健福祉部健康増進課 ☎ 088-621-2224

学術研修委員会

介護保険法施行の前年、全国にさきがけ、徳島県介護支援専門員協会が設立された。あの日に思い返すと、出た事のように思われるが、それだけ大きな変革が静かに、そして確実に介護支援専門員個人にもた事業施設の医療・保健・福祉分野に定着してきていた。

介護保険法施行の四月、六月にかけて山積していた問題は、関係職員の特にケアマネージャー個人業務や業務において解決されその自己研鑽は決まらぬ努力があったように思われる。前高槻市長の「妻を介護して、山崎摩耶氏の介護保険のこれから、小山秀夫氏の介護支援専門員として求められるもの等」等々、介護支援専門員としての求められるもの、多様なニーズは日々変化してきている。この十月からは保険料の全額徴収が始まり利用

施設委員会

「百聞は一見に如かず」、隣の芝生も見て見ましょ、介護保険の義務に追われたあつという間の一年でした。経営面では在宅に比べて施設はある程度満足ゆけ決算を迎えられたことと思われ、運営においては身体拘束ゼロへの取り組みや、ケアプランに基づく個別援助への転換と、大きな改善が求められてきた。どの施設においてもこの二点が当面の最大の課題だったのでないでしょうか。

本年度は学術委員会等との合同研修会の開催、またホームページにケアハウスやグループホームを含めた介護保険関係施設マップの掲載を予定し、着々と準備を進めてお

アケアマネとして知っておきたい知識と実際、では在宅療養と施設利用者ともに基本的・普遍的なケアの見直しをケアマネージャー自身が実践し指導するために、第二回目は施設・業務・学術の三委員会合同で開催した、「痴呆高齢者の介護についてその現状と課題」は在宅・通所・施設の増え続ける痴呆高齢者に最適な個別ケアを課題として熱い議論を交わした。なかでも利用者代表から情報開示と、サービス内容の説明を強く求められた。サービス提供者からは早急に誠実にこれに対応されたのか県のアンケート調査では利用者の比較的高い満足度が示されている。

者、サービス提供者の双方にいろいろな感慨の変化もあると考えられる。この困難な時代における、介護支援専門員と学術部門の責務は重大である。来春の三月中旬には三委員会合同の学術研修として、「介護保険の最大援助要素は、在宅を最終目的とし、高齢・障害・慢性疾患・そして看取りを利用者が安心の在宅を選択できる日のために、又いつの日か誰も病んで臥す時のために、より高い専門性・薬剤・栄養等深く深い研修としたいと考えている。

業務委員会は常に、在宅におけるケアマネジメントの質を高めるために」ということに視点を置いて活動してきました。事業者が利用者の間で「これだけのケアマネージャー!」と自らの仕事に悩みの声を拾い上げ、会員で共有し合っており、会員でも良いケアマネジメントを提示する参考にと、いつも、お会いに語らう形式の会を企画してきました。

平成十三年度徳島県介護支援専門員協会役員

計	十六名
会長	大塚 智子
副会長	花岡 豊子
副会長	寺上 三子
副会長	武久 洋三
副会長	津田 祐子
副会長	高根 健治
副会長	大西 智城
副会長	阿部 啓子
副会長	鷲 万理子
副会長	乾 万里子
副会長	西山 恵子
副会長	羽田 けい子
副会長	馬原けい子
副会長	山原けい子
副会長	山上 久
副会長	吉川 俊美
副会長	日比野敏行

年二月十七日開催では、老健施設鳴山荘の森相談指導課様をオプバーに迎え、現場での悩みや疑問をグループに分かれて語り合い、助言を頂いた。交流の場をもちました。約六十人の参加者には、精神保健分野の看護婦の参加もありケアマネージャーの活動の範囲の多様性を認識しました。

あなたも介護支援専門員協会に入会しませんか。

徳島県介護支援専門員協会は、全国で初めて、介護支援専門員の自己研鑽を主な目的に設立された協会です。医療・保健・福祉各分野で、それぞれの知識を持つ、利用者としてのケアプランが作成できるようなタイムリーで幅広い内容の講演会や研修会を開催し、また、広報活動を通じて得た知識、技術を向上につなげる、効果的な研修会を開催しています。介護保険も開始して、一年半、ニーズにあったケアプランが、適正に作成

成されているかどうか評価する、ケアプラン評価事業もモデル事業としてはまじり、これからますます介護支援専門員としての専門性が求められるものと思われ、現在、二九六名、医療・保健・福祉、全ての分野が参加している。今後の業務に生かすことのできるケアマネージャーを目指しませんか。

運営委員会

運営委員会は、各委員会主催の研修会や講演会、協会ニュースの発行等に役立っていただいております。また、これらの企画・実施は、会員の中から任意で委員会委員になっていただけた方によって行われております。そこで、会員の皆様で委員に参加してみたいと思われの方を募集しております。前向きでボランティア精神豊富な方はぜひご連絡下さい。会員の皆様で今年度分未納の方がありましたら、お振込みの手続きをよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご協力をお願いします。皆様のご協力をよろしくお願ひします。新規入会の方も振込先は同じです。(入会金+年間費半額あわせて二千元)

「百聞は一見に如かず」、隣の芝生も見て見ましょ、介護保険の義務に追われたあつという間の一年でした。経営面では在宅に比べて施設はある程度満足ゆけ決算を迎えられたことと思われ、運営においては身体拘束ゼロへの取り組みや、ケアプランに基づく個別援助への転換と、大きな改善が求められてきた。どの施設においてもこの二点が当面の最大の課題だったのでないでしょうか。

本年度は学術委員会等との合同研修会の開催、またホームページにケアハウスやグループホームを含めた介護保険関係施設マップの掲載を予定し、着々と準備を進めてお

アケアマネとして知っておきたい知識と実際、では在宅療養と施設利用者ともに基本的・普遍的なケアの見直しをケアマネージャー自身が実践し指導するために、第二回目は施設・業務・学術の三委員会合同で開催した、「痴呆高齢者の介護についてその現状と課題」は在宅・通所・施設の増え続ける痴呆高齢者に最適な個別ケアを課題として熱い議論を交わした。なかでも利用者代表から情報開示と、サービス内容の説明を強く求められた。サービス提供者からは早急に誠実にこれに対応されたのか県のアンケート調査では利用者の比較的高い満足度が示されている。

者、サービス提供者の双方にいろいろな感慨の変化もあると考えられる。この困難な時代における、介護支援専門員と学術部門の責務は重大である。来春の三月中旬には三委員会合同の学術研修として、「介護保険の最大援助要素は、在宅を最終目的とし、高齢・障害・慢性疾患・そして看取りを利用者が安心の在宅を選択できる日のために、又いつの日か誰も病んで臥す時のために、より高い専門性・薬剤・栄養等深く深い研修としたいと考えている。

業務委員会は常に、在宅におけるケアマネジメントの質を高めるために」ということに視点を置いて活動してきました。事業者が利用者の間で「これだけのケアマネージャー!」と自らの仕事に悩みの声を拾い上げ、会員で共有し合っており、会員でも良いケアマネジメントを提示する参考にと、いつも、お会いに語らう形式の会を企画してきました。

平成十三年度徳島県介護支援専門員協会役員

計	十六名
会長	大塚 智子
副会長	花岡 豊子
副会長	寺上 三子
副会長	武久 洋三
副会長	津田 祐子
副会長	高根 健治
副会長	大西 智城
副会長	阿部 啓子
副会長	鷲 万理子
副会長	乾 万里子
副会長	西山 恵子
副会長	羽田 けい子
副会長	馬原けい子
副会長	山原けい子
副会長	山上 久
副会長	吉川 俊美
副会長	日比野敏行

編集後記

介護保険制度スタートと同時に当協会ニュースも誕生し、二年が経過した。当初は要介護認定調査の判断基準に戸惑い、慣れない電話の給付管理業務に追われ、在宅の支援現場では利用者からの悩みごと相談などに悩まされた。この間、協会では、会員のニーズに応えるいろいろな講習会や研修会が実施されてきた。広報誌に掲載する話題が山積していた時期でもあったが、思う。頑張っている事業所を紹介し、各市町村における介護保険への取り組みの紹介や、関係各位の方々からの協力を期待するお言葉など、頂き各号に花を添えて頂いた。振り返ると、介護支援専門員協会ニュースは、介護保険と共に歩んできた感がある。今に至っては、支援事業に熟知しサービスも滞りなく行われるようになり、我々が目指す目標がステップ

徳島県介護支援専門員協会入会状況

会員総数	二九六名
医師	一四七
看護師・婦	五八
歯科衛生士	一九
歯科衛生士	二〇
薬剤師	七八
理学療法士	四三
作業療法士	一〇
社会福祉士	一〇
介護福祉士	六九
栄養士・管理栄養士	二一
鍼灸師	一三
柔道整復師	七
保健師	七
助産師	四
相談指導員	二
生活相談員	二
義肢装具士	一
ソーシャルワーカー等	一
ホムヘルパー	一
寮父・母	一
施設長	一
その他	一
不明	一

各種委員会名簿

学術研修委員会	津田 祐子	看護 婦
	馬原けい子	相談指導員 婦
	三木満理子	看護 婦
	林 久美	社会福祉士 婦
	田村 正江	看護 婦
	清水加津子	ソーシャルワーカー 婦
	日比野敏行	医師 男
	三宅 和美	理学療法士 婦
	大木元玲子	歯科医師 婦
	柳澤 慶子	看護 婦
	多田 文江	看護 婦
	高根 健治	社会福祉士 男
	山上 久	医師 男
	阿部 啓子	看護 婦
	大下 直樹	ソーシャルワーカー 男
	西浦 初代	看護 婦
	武田 初子	看護 婦
	田野 道子	社会福祉士・介護福祉士 婦
	平沢さゆり	理学療法士 女
	花岡 智子	看護 婦
	羽田 勝	歯科医師 男
	西山 恵子	介護福祉士 女
	福山千佳子	保健師 女
	小川三佳子	作業療法士 女
	那賀川明美	歯科衛生士 女
	足立 正男	看護 婦
	河野 景史	薬剤師 男
	山口 康史	看護 婦
	鳥澤 郁子	看護 婦
	古田 結花	管理栄養士 女
	岡 厚志	理学療法士 男
	多田美都代	介護福祉士 女
	寺上 豊	介護福祉士 女
	乾 万里子	保健師 女
	原田美千代	看護 婦
	北濱 明子	看護 婦
	保岡 正治	医師 男
	福家 弘美	ホムヘルパー 女
	高橋 直之	理学療法士 男
	黒谷 織子	歯科衛生士 女
	武久 洋三	理学療法士 男
	鷲 春夫	理学療法士 男
	黒田 景子	理学療法士 女
	吉方 真弓	看護 婦
	大串 恭子	看護 婦
	高橋 忠雄	看護 婦
	岡川 君代	介護福祉士 女
	岡 桃子	作業療法士 女

お知らせ

高齢者を支えるネットワーク
- もっと社会資源を知りましょう -
日時：平成14年1月19日(土)
午後1時30分～4時
場所：徳島市生涯福祉センター
「ふれあい健康館」

研修会
施設見学研修会(施設委員会)
平成14年1月26日(土) 14:00～16:00
特別養護老人ホーム 蓬菜荘
介護老人保健施設 悠心館
平成14年2月9日(土) 14:00～16:00
鳴門山上病院 各20名限定
問い合わせ・申し込み先 担当：大下
大神山在宅介護支援センター
☎ 088-662-6060 Fax 088-663-2880
申し込みはFaxで、希望施設・お名前・所属・連絡先を明記の上、お送り下さい